

第48期 株主通信

2015年4月1日～2016年3月31日

証券コード：7775

Open the Medical Frontier

 **COOPDECH**



医療社会を未来する

大研医器株式会社



10期連続で 増収・経常増益

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、格別なるご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ここに、2016年3月期決算と事業の状況をご報告申し上げます。

代表取締役社長 **山田 圭一**

当事業年度におけるわが国経済は、政府による積極的な金融・経済政策により、設備投資の持ち直しや企業収益の改善等、緩やかな景気回復基調が続いております。しかしながら中国を始めとするアジア新興国や資源国等の下振れリスクを背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、高齢化の進展による手術数の増加、院内感染や医療事故防止対策の推進により、国内外において医療用消耗品のニーズの拡大が続いております。

しかしながら、平成26年11月に施行された「医薬品、医

療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」により規制緩和が進み、国内外の異業種からの新規参入や既存メーカーの新分野への積極的な取り組みなど、他メーカーとの競争が予想され、引続き業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

2016年3月期の決算は、主力の吸引器関連において、病棟用の吸引器であるキューインポットが好調に推移したこと及び注入器関連において、特定保険医療材料であるPCAセットが好調に推移したことにより、売上高は82億61百万円(前期比2.8%増)、経常利益は17億4百万円(前期比4.9%増)、当期純利益は11億53百万円(前期比5.0%増)となりました。

今後の当社を取り巻く環境は、医療費抑制策の基調が継続し、病院間の競争の激化や国内外のメーカーとの価格競争などにより、引き続き厳しい状況で推移するものと思われます。このような状況のもと、当社の営業・技術・製造が一体となって市場競争力を高め、独創技術で医療革命を目指す意味をこめたクーデック(COOPDECH)のブランディング強化に努めながら、さらなる業績の向上、企業価値の増大に向けて邁進すると同時に、顧客にとって不可欠なパートナーであり続けることを目指して取り組んでおります。

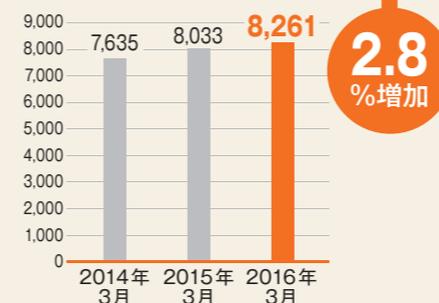
また当社が対処すべき課題として以下のことに取り組んでまいります。

- ① 既存製品の拡充・新製品の開発
- ② 海外販売の拡充
- ③ 優秀な人材の確保、教育の強化
- ④ 品質保証体制の充実
- ⑤ 強固な企業体質の確立

こうした状況を踏まえ、2017年3月期の見通しといたしましては、売上高85億50百万円(前期比3.5%増)、経常利益17億50百万円(前期比2.7%増)を計画しております。

また、当社は、株主への配当政策を重要経営課題の一つと認識し、経営成績に裏づけされた成果の配分を中間及び期末配当の年2回行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、2016年3月期の1株当たり配当額は年間16円(中間配当金7円、期末配当金9円)とさせていただきます。

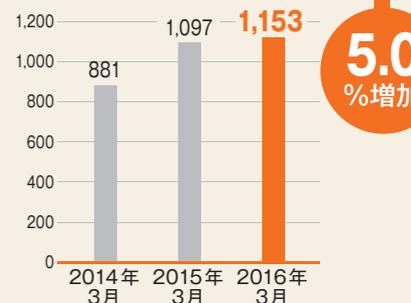
売上高(単位:百万円)



経常利益(単位:百万円)



当期純利益(単位:百万円)



当社のビジネスの特徴

- 常に視野を広げ世の中の潮流の先を読む
- すべて顧客目線で捉え、医療現場とタッグを組んだ柔軟な組織で変化に機敏に対応する
- 焦点を絞った製品創りに没頭集中することによって特許に裏付けられた独創的な製品を提供し続ける

Global Innovative Manufacturer

世界に輝く
高度先進医療機器
メーカーを目指して

事業の方向性1
Business Expansion
対象領域の拡大

- 麻酔領域の深耕
- 救命救急領域への進出 他

Original Products
独創的製品

事業の方向性2
Global Expansion
海外展開の推進

- アジア・欧米での布石
- 海外委託生産の活用
- 企画研究・マーケティングの充実
- 販売ネットワークの拡充

Open the Medical Frontier

DAIKEN MEDICAL
大研医器

COOPDECH

Medical Institutions
医療機関

Needs
現場ニーズ

Company Motto
社是

Basic Policy
基本方針

●社是

我々は現在の医療を見つめ
明日の医療の創造を通して社会に貢献します。

●基本方針

1. 私たちは医療現場と協力し常に新しい医療機器の開発と需要の創造に努めます。
2. 私たちは一人ひとりが不可能を可能にできるよう挑戦的に仕事にあたります。
3. 私たちは社会人としてまた企業人として全人格的な成長を通して企業の発展のため励みます。

●大研医器の製品の統一ブランド
「クーデック」に込めた想い

「クーデック」とは、「クーデター・バイ・テクノロジー」という意味の造語で、当社が展開する製品の統一ブランドです。

独創的な技術で医療に革命をもたらしたいという、当社の想いが込められています。

最先端医療を支える
独創的な製品を次々と開発

Suction

手術中の血液や体液等の廃液を吸収し、ワンタッチで凝固させることができます。凝固剤一体型で完全密閉のため、安心して移動・焼却処分が可能で、ウイルス等の院内感染予防に貢献します。



フィットフィックス
手術中に排出された血液や体液を吸収し、貯溜するディスポーザブル吸引器。



クーデック キューインポット
軽量かつコンパクトな使い捨て吸引器。病棟で簡単かつ清潔に使用可能。

Pump

手術後の痛みやがんの痛みを軽減するため、麻酔等の薬液を常に一定の流量で注入します。大気圧やメカトロニクス技術を利用することで、理想的な流量精度を実現しました。またPCAを利用することにより、現場のニーズにあわせて鎮痛剤の追加投与が可能となりました。



クーデック シリンジェクター PCAセット
大気圧式のディスポーザブル注入器。薬液投与量の記録管理等が可能。



クーデック シリンジポンプ
注射筒に入った輸液を注入する電動ポンプ。高い精度で多様な流量調整が可能。

Others

救急医療や手術室等で使用する様々な製品を作り出しています。今後は、低侵襲治療に係る最先端技術の開発や在宅医療等の新領域にも挑戦し、患者様のクオリティ・オブ・ライフの向上に繋がる製品を送り出していきます。



クーデック アイクール
心肺停止の患者様の脳を冷却するための、体温調節装置システム。



ステリキープII
衛生的な手洗いに使用する、殺菌水製造装置。

クーデック独自の
新設計!

シンクと蛇口の形状や高さを工夫し
疲れにくさと使いやすさを追求した
手洗い水装置(水道水対応) ザウバーゾーン®

2016年3月25日、当社は独自の新設計による手洗い水装置ザウバーゾーンを発売しました。

手洗い水装置とは、手術の際に医師や看護師が手術室に入る前の手洗い用として使用する装置です。ザウバーゾーンは、従来より好評を得ていた一体型シンクやソフトシャワーの性能をさらに進化させ、またシンクと蛇口の形状や高さを工夫することにより、使用時の体への負担軽減と使いやすさの向上を実現しました。

お取引先様のニーズに合わせて、無菌水(医療用)タイプと水道水タイプの2ラインナップをご用意しております。

今後も、医療従事者の負担を軽減し、医療現場の課題を解決する製品の開発を続けてまいります。

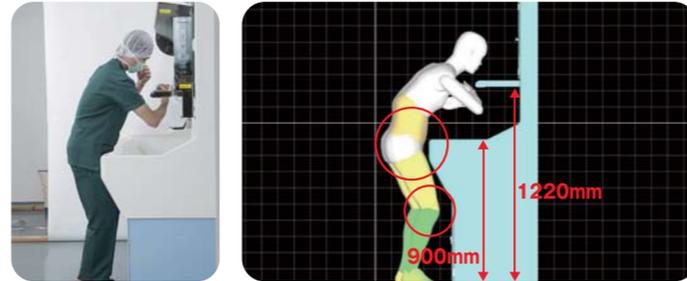
仕様・タイプ

1人用手洗いユニット/2人用手洗いユニット/
3人用手洗いユニット/壁掛けタイプ

標準4色カラー

ベビーブルー/ミントグリーン/
パールホワイト/バステルピンク

1 腰、股関節、膝への負担を軽減



デジタルヒューマン技術®の導入で、より疲れにくく使いやすい蛇口やシンクの高さを実現。腰、股関節、膝への負担が軽減されました。

※デジタルヒューマン技術はパナソニック(株)解析センターのシミュレーションシステムです。

2 継ぎ目のない一体型シンクとソフトシャワー

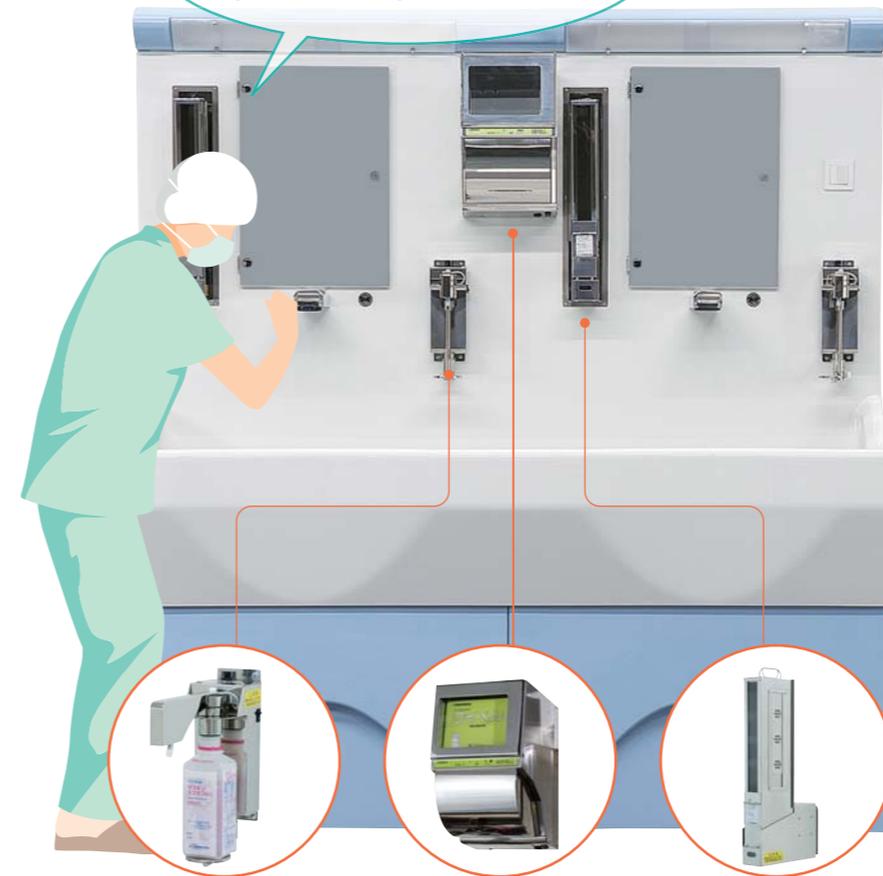


広い手洗い空間を確保した新設計のシンクは、継ぎ目がなく清掃が簡単です。

滑らかな流水のソフトシャワーです。

疲れにくいので、念入りに
手洗いに集中できる!

※2人用手洗いユニット



センサー式
ソープディスペンサー

- ・自動的に消毒液が吐出
- ・消毒液を容器に移し替えず、そのまま使用
- ・耐久性の高い加圧方式
- ・流量調整つまみで薬液量を調整

ワイベル
ホルダー

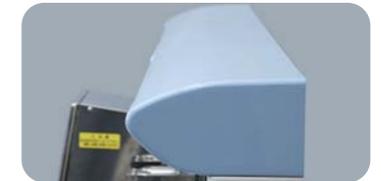
- ・紫外線ランプ照射でホルダー内はいつも清潔
- ・手ばさみ防止安全装置
- ・広く大きい取り出し口

ブラシケース
センサー式ブラシケース架台

- ・自動的にブラシが作動
- ・清潔なオールステンレス製で耐久性も抜群

クーデック独自の付属品

3 清掃性と
メンテナンス性を向上



天井面はホコリが溜まりにくく、掃除がしやすいラウンド形状です。



シンク下に広いスペースを確保し、清掃やミキシングバルブの操作がしやすくなりました。

4 充実の装備



ミラーキャビネットは予備のスクラブ製剤などをすっきり収納できます。



省エネ・長寿命のLED照明を標準装備しました。

流動資産 **62億05百万円**



流動資産は前事業年度末に比べて、2億3百万円増加し62億5百万円となりました。これは、主として現金及び預金が1億71百万円、売掛金が86百万円及び受取手形が25百万円増加したこと等によるものです。

純資産 **65億12百万円**



純資産は前事業年度末に比べて、6億71百万円増加し65億12百万円となりました。これは、主として繰越利益剰余金が、剰余金の配当により4億79百万円減少したものの、当期純利益を11億53百万円計上したこと等によるものです。

貸借対照表(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2015年3月末)	当事業年度 (2016年3月末)
○資産の部		
流動資産	6,002	6,205
固定資産	2,766	3,931
有形固定資産	2,507	3,696
無形固定資産	81	68
投資その他の資産	178	166
資産合計	8,768	10,136
○負債の部		
流動負債	2,664	2,662
固定負債	263	961
負債合計	2,928	3,624
○純資産の部		
株主資本	5,833	6,506
資本金	495	495
資本剰余金	505	505
利益剰余金	5,342	6,015
自己株式	△509	△510
評価・換算差額等	1.5	△0.1
その他有価証券評価差額金	1.5	△0.1
新株予約権	6	6
純資産合計	5,840	6,512
負債純資産合計	8,768	10,136

損益計算書(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	当事業年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)
売上高	8,033	8,261
売上原価	3,860	3,944
売上総利益	4,172	4,316
販売費及び一般管理費*	2,550	2,620
営業利益	1,621	1,695
営業外収益	9	15
営業外費用	7	7
経常利益	1,623	1,704
特別利益	—	—
特別損失	22	0.9
税引前当期純利益	1,601	1,703
法人税、住民税及び事業税	474	519
法人税等調整額	29	30
当期純利益	1,097	1,153

キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	当事業年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,140	1,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383	△1,316
財務活動によるキャッシュ・フロー	△586	192
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	170	171
現金及び現金同等物の期首残高	1,960	2,131
現金及び現金同等物の期末残高	2,131	2,302

研究開発費 **4億47百万円**
(※販売費及び一般管理費)



研究開発費は、4億47百万円(前期比2.4%増)となりました。産学連携による先端医療機器の開発等、高度先進医療分野への研究開発活動の強化に取り組んだことによるものです。

営業利益 **16億95百万円**



営業利益は16億95百万円(前期比4.6%増)となりました。これは、主として売上の拡大及び売上原価の低減等により売上総利益が増加したこと等によるものです。



「マイクロポンプ※」を用いた ディスポーザブル型医療機器の開発

関西圏国家戦略特区における事業に認定され、国家戦略特区法に基づく、高度医療に係わる医療機器の研究開発に関する事業の適用第1号案件となります。

2015年11月27日、当社が進める「マイクロポンプを用いたディスポーザブル型医療機器の開発」について、世界の医療分野における我が国の国際競争力の強化に寄与する研究開発であることが認められ、関西圏国家戦略特区における事業と認定されました。

今回の認定により、課税の特例措置として、法人税法上の優遇措置を受けることが可能となります。この優遇税制の活用により生じた資金を当研究開発に充当することで、より一層の円滑かつ迅速な製品実現化に向けて取り組んでまいります。

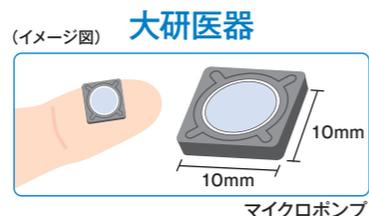
※マイクロポンプとは、MEMS デバイス(機械・電子・光・化学等の多様な機能を集積化した微小デバイス)のひとつで、超小型で精密なポンプの一種であり、小型燃料電池用の燃料供給や分析機器用の液体輸送、インクジェットプリンタのヘッド部にある微小ノズル等で使用されています。また、医療分野においては、現在のところ使用されているケースは世界を含めてもまだ僅かです。

商品開発
研究所



関西圏国家戦略特区
における事業に認定
(法人税法上の優遇措置)

資金を
研究開発に充当



マイクロポンプを用いた
ディスポーザブル型医療機器の開発
高機能/小型化/低コスト化

あらゆる医療現場で

- ・病院内
- ・在宅医療
- ・救急医療等

課題解決に貢献

- ・医療機関の医療費負担軽減
- ・早期離床の促進
- ・患者様のQOL※向上

※QOL(クオリティ・オブ・ライフ、Quality Of Life)とは、「生活の質」「生命の質」等と訳され、患者様の身体的な苦痛を取り除くだけでなく、精神的、社会的活動を含めた総合的な活力、生きがい、満足度という意味があります。

会社データ

会社概要 (2016年3月31日現在)

社名	大研医器株式会社
設立	1968(昭和43)年11月5日
	代表取締役会長 山田 満
	代表取締役社長 山田 圭一
売上高	82億6,141万円
従業員数	184名
本社	〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
業種	医療用機械器具製造販売、 医療用機械器具輸出入

役員一覧 (2016年6月24日現在)

代表取締役会長	山田 満
代表取締役社長	山田 圭一
専務取締役	山田 雅之
取締役	柳堀 真司
社外取締役	古賀 義久
社外取締役	大工舎 宏
常勤監査役	上原 康司
社外監査役	岩城 本臣
社外監査役	北山 涼一

株式情報 (2016年3月31日現在)

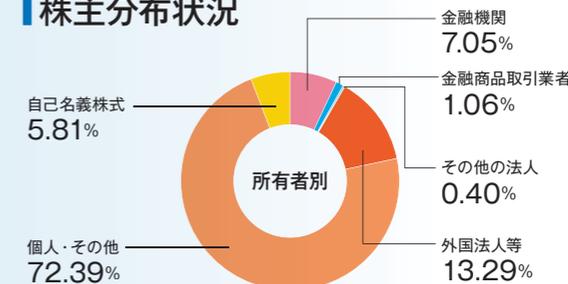
株式の状況

発行可能株式総数	103,360,000株
発行済株式の総数	31,840,000株
株主数	9,636名

大株主	持株数(株)	持株比率(%)
山田 圭一	5,877,760	19.60
山田 満	5,433,880	18.12
山田 雅之	2,595,360	8.65
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	1,755,200	5.85
山田 米子	1,068,720	3.56
BBH FOR MATTHEWS ASIA GROWTH FUND	911,500	3.04
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT	630,000	2.10
第一生命保険株式会社	402,500	1.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	373,900	1.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	314,700	1.05

※当社は、自己名義株式を1,849,257株保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己名義株式を控除して計算しております。

株主分布状況



所有者別分布状況	株主数(名)	株式数(株)	百分率(%)
金融機関	22	2,242,900	7.05
金融商品取引業者	35	338,568	1.06
その他の法人	52	127,700	0.40
外国法人等	74	4,231,373	13.29
個人・その他	9,452	23,050,202	72.39
自己名義株式	1	1,849,257	5.81
合計	9,636	31,840,000	100.00

株主メモ Stockholder Memo

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <http://www.daiken-iki.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



医療社会を未来する——

大研医器株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号 京阪神御堂筋ビル14F

TEL:06-6231-9901(代表)

<http://www.daiken-iki.co.jp/>